

iPod リモコン説明書

Rev5

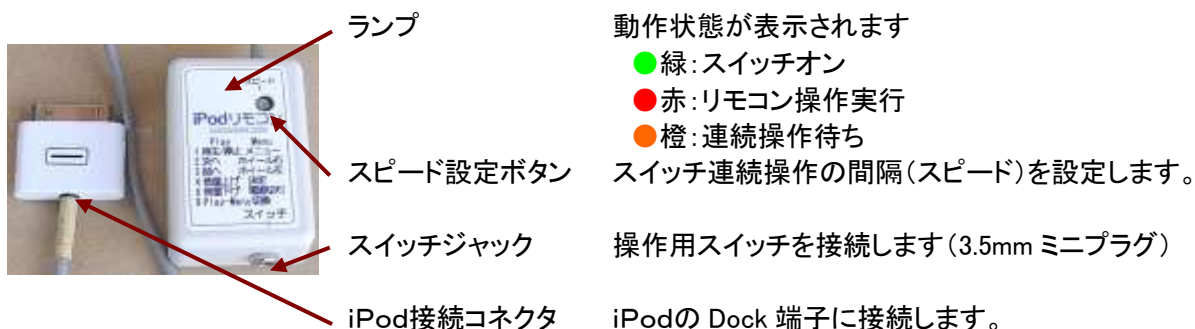
◆ 概要

- iPod リモコンは、1つのスイッチでiPod の音楽再生操作を行う装置です。
- 再生／一時停止、次へ移動、前へ移動、音量上げ下げ、電源オンオフ操作と、メニュー操作ができます。
- 操作項目はスイッチを押す回数で選択します。



iPod、スイッチは付属しません

◆ 各部の名称と機能



◆ 接続方法

1. 操作スイッチをスイッチジャックにさし込んでください。
2. iPod 接続コネクタをiPod の Dock 端子にさし込んでください。(コネクタの[---]マークが表になるようにしてください)
3. iPod のイヤホン端子にイヤホンまたはオーディオ機器を接続してください。(Dock コネクタをさし込むとiPod 内蔵スピーカからは音が出なくなります)



◆ 操作方法 ～ スイッチを押す回数でリモコン操作の内容を選びます ～

- 基本操作
 1. スイッチを1回押すとランプが緑に点灯し、ブザーが短く鳴ります。
 2. スイッチを離して少し経つとランプが赤く点灯し、ブザーが鳴って、「再生／一時停止」のリモコン操作が行われます。
 3. 2でスイッチを離してブザーが鳴る前にもう一度スイッチを押すと、1とは異なった音程でブザーが鳴ります。(連続2回押し)
 4. 3の後スイッチを離して少し経つとブザーが鳴り、スイッチ2回押しに対応した「次へ移動」のリモコン操作が行われます。
 5. 同様の操作で、スイッチを連続して押す回数でリモコン操作の内容を選びます。
 6. スイッチを押す回数は1回から6回までです。7回以上連続で押した場合何も行われません。
- プレイモード／メニューモード
 7. 再生、音量などの操作を行うプレイモードとメニュー操作を行うメニューモードがあります。
 8. モードによりスイッチ操作回数ごとの操作内容が変わります。
 9. スイッチを6回操作するとモードが切りかわります。
 10. メニューモードではスイッチ操作ごとにブザーが2回鳴ります。
- 繰り返し操作
 11. リモコン操作の後一定時間ランプが橙に点灯します。その間にスイッチを押すと1回押すだけで前回と同じ操作を繰り返して実行できます。(再生／一時停止、iPod電源切り、モード切り換えをのぞく)

- 操作ロック
- 12. スイッチを押したままにするとブザーが2回鳴り、以降スイッチ操作がロックされてリモコン操作ができなくなります。
- 13. ロック中もiPodは動作し続けます。音楽を再生中に不用意なりモコン操作を抑えるのに用います。
- 14. ロックの解除は、ブザーが2回鳴るまでスイッチを押したままにします。
- iPod電源
- 15. メニューモードでスイッチを5回操作するとiPodの電源が切れます。
- 16. iPodの電源を入れるには、再生などのリモコン操作を行います。(iPodの電源が切れた状態で電源切り操作を行うと、一旦電源が入ったあともう一度切れます)
- 17. メニューモードでスイッチを5回操作した後は自動時にプレイモードになります。
- 一覧

スイッチ 操作	操作内容				
	プレイモード	繰り 返し	メニューモード		繰り 返し
			タッチパネル	クリックホイール	
1回	再生／一時停止		メニュー切替	メニューボタン	○
2回	次へ移動	○	メニュー項目↑	ホイール右回転	○
3回	前へ移動	○	メニュー項目↓	ホイール左回転	○
4回	音量上げ	○	決定(タップ)	センターボタン	○
5回	音量下げ	○	iPod 電源切		
6回	メニューモードへ		プレイモードへ		
長押し	操作ロック／ロック解除				



◆ 設定

1. スイッチ連続操作の間隔(操作スピード)を設定できます。
2. 設定した時間より短い間隔でスイッチの連続操作を行ったとき操作項目が選択されます。
3. 設定を行うには先の細いものでスピード調整ボタンを押してください。
4. スピード調整ボタンを押してはなすと、ランプが点灯してブザーが鳴り、現在の設定時間後にもう一度ランプが点灯してブザーが鳴ります。(ブザーとブザーの間隔が設定時間)
5. 設定値を変えたいときはスピード調整ボタンを押したままにします。ボタンを押したままにすると、設定時間が徐々に短くなり、ブザーが鳴る間隔も短くなります。
6. 希望の間隔になったときにボタンを離すと。そのときの時間が記憶されます。
7. 時間を現在の設定値より長くしたい時は、ボタンを押したままにして時間が最短値に達すると一旦最長値になりそこから徐々に短くなっていきます。
8. 間隔を短く設定するとスイッチを素早く操作する必要がありますが、スイッチを離してからリモコン操作が行われるまでの時間が短くなります。
9. 間隔を長く設定するとゆっくりスイッチを操作することができますが、スイッチを離してからリモコン操作が行われるまでの時間が長くなります。
10. 繰り返し操作の待ち時間(ランプが橙で点灯する時間)も連動して変化します。

◆ 使用上の注意

1. iPod本体のホールドスイッチを「HOLD」側にした状態でもリモコン操作は可能です。
2. 機種により、iPod本体のホイールで操作できてもリモコンによるホイール操作ではできない場合があります。例:カバーフローでアルバムを順にめくる操作、写真やビデオをアイコンから選択する操作
3. 機種により、iPod本体のホイール操作とリモコンによるホイール操作で動作が逆になる場合があります。例:「フォトライブラリ」で左右方向に選択を行うとき